

# パレットHGの各種下地への施工手順

## 下地の確認

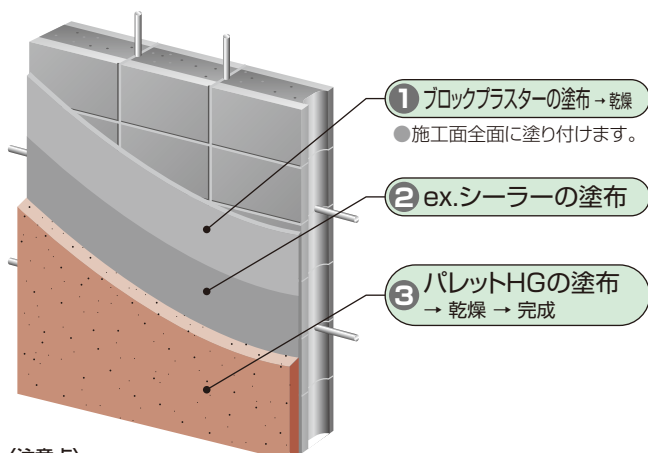
- 強度の確認。 ●目地の確認。
- 白華(エフロレッセンス)やレイタンス、ドライアウトは発生していないか。

## 事前補修・清掃

- ワイヤーブラシ、タワシ、スチールタワシ、ホウキなどを用いて汚れ、ほこりを落とし、水洗い。
- ひび割れなどは補修。

## 外装材 コンクリートブロック下地の場合

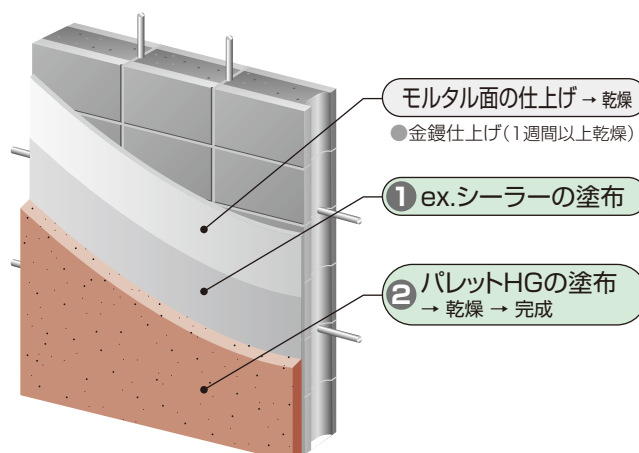
### 「ブロックプaster」を使用する場合



#### 〈注意点〉

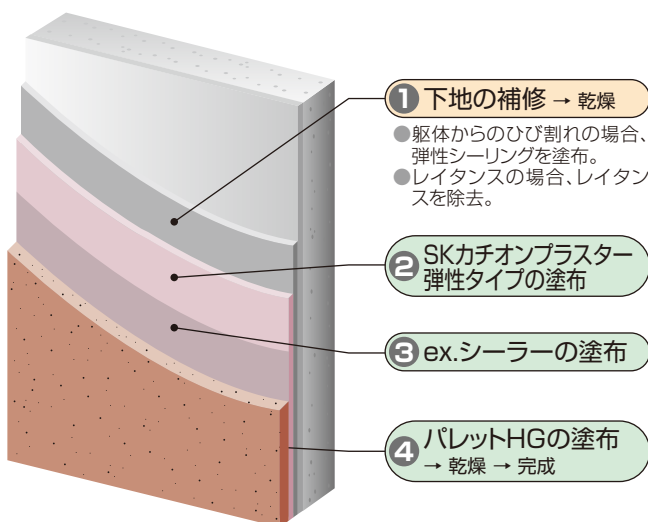
- 凹凸のある化粧ブロックには施工できません。
- コンクリートブロックに塗料等が付着している場合は除去してください。
- 夏場は施工前に下地に水打ちを行ってください。
- 古いコンクリートブロックにカビや藻等が付着している場合は除去してください。

### セメントモルタルを使用する場合

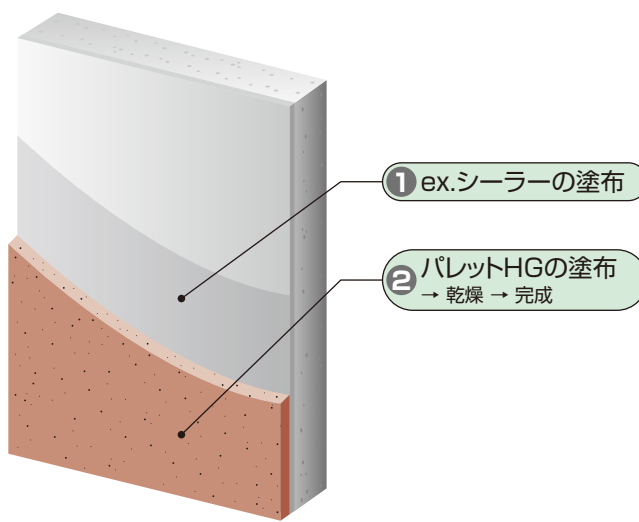


## 外装材 セメントモルタル下地の場合

### モルタル面の補修が必要な場合



### モルタル面が良好な場合



## 下地に関する注意事項

- 下地は平らに仕上げ、十分乾燥させてください。
- 強度がない下地は、剥離の原因になりますので、塗り直してください。
- 塗り面のゴミ、油分、カビ等は予め取り除いてください。
- カビが発生している場合は「カビ止めシーラー」(別売)で処理してください。
- 釘などで錆の恐れがある場合は、錆止めを施してください。また、塗り替えて釘頭が錆びている場合は、サンドペーパーや研磨布を用いて錆を除去し、錆止めを施してください。
- モルタル下地のひび割れは、アクリル系、変性シリコン系、樹脂セメント系等の充填材による補修を行ってください。
- ブロックの目地部のひび割れは、モルタルによる補修を行ってください。
- 製品自体に白華の原因となる成分は配合されておりませんが、ブロック塀等の下地の白華に起因した白華現象が生じる場合があります。
- 下地が白華している場合は、白華を除去した後、「ジュラックスシーラー-B」(別売)を塗布してから施工してください。また、白華の恐れがある場合も、「ジュラックスシーラー-B」を塗布してから施工してください。
- 埋め込み式のポストインターホン・小窓などを使用する際には、周辺部をコーキングし、下地への雨水の侵入を防止してください。
- 上端(天端)は、下地を凸状に仕上げ、水がたまらない構造にしてください。
- 巾木(基礎)部及び土留めには施工できません。